

# 2010年度第3四半期決算 IR説明会



2011年2月8日  
日本テレビ放送網株式会社

本説明会及び資料の内容には、  
将来に対する見通しが含まれていることがあります。  
しかし、実際の業績は、  
さまざまな状況変化や要因により、  
これらの見通しと  
大きく異なる結果となり得ることがあり、  
何らの保証やコミットメントを  
与えるものではありません。ご了承下さい。  
また、本資料の無断転載はお断りいたします。



- 業績予想を上方修正
- 連結・単体とも微減収増益
- スポットセールス好調維持
- 制作費節減続く

# 連結損益

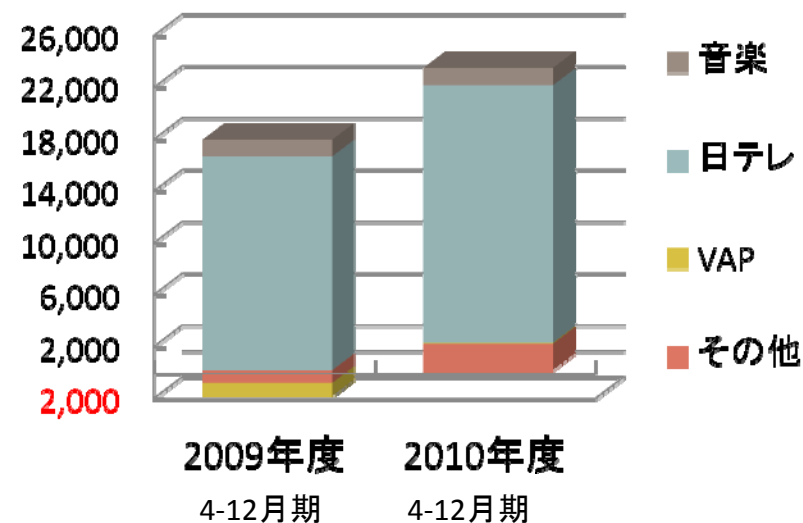


(単位:百万円)

	2009年度 4-12月期	2010年度 4-12月期	増減率 (%)
売上高	223,366	222,884	△0.2
営業利益	16,739	23,424	39.9
経常利益	19,938	30,087	50.9
四半期純利益	12,274	16,788	36.8

	2009年度 10-12月期	2010年度 10-12月期	増減率 (%)
売上高	79,053	77,911	△1.4
営業利益	8,517	11,715	37.5
経常利益	9,581	12,858	34.2
四半期純利益	5,804	7,552	30.1

連結営業利益 会社別構成



# 単体損益

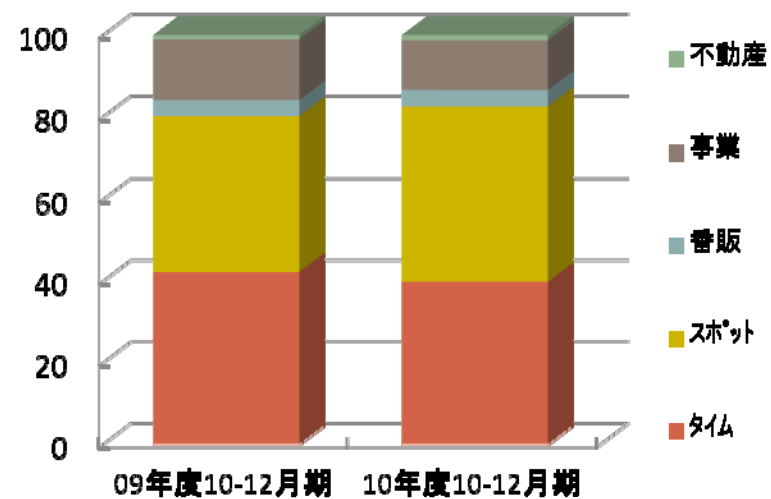
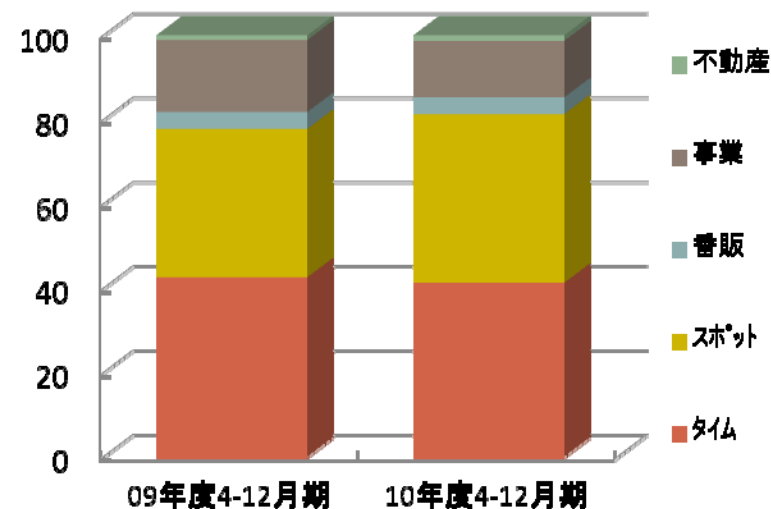


(単位:百万円)

	2009年度 4-12月期	2010年度 4-12月期	増減率 (%)
売上高	196,331	192,721	△1.8
営業利益	16,509	19,881	20.4
経常利益	18,941	24,733	30.6
四半期純利益	10,477	13,312	27.1

	2009年度 10-12月期	2010年度 10-12月期	増減率 (%)
売上高	67,017	66,399	△0.9
営業利益	7,736	10,765	39.2
経常利益	8,329	11,250	35.1
四半期純利益	4,942	6,447	30.4

売上高 事業別シェア

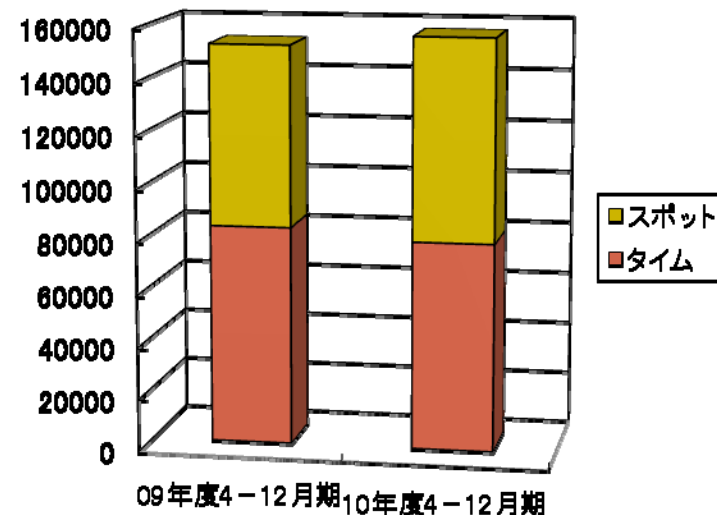


# 放送収入－単体－

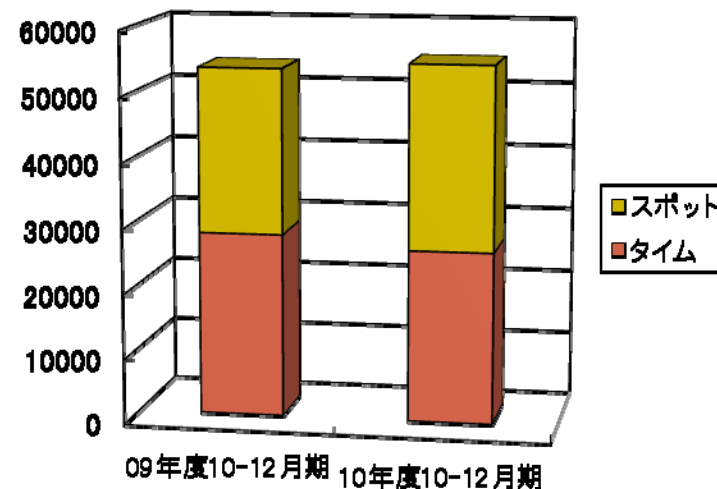


(単位:百万円)

	2009年度 4-12月期	2010年度 4-12月期	比較	増減率 (%)
放送収入	152,668	156,672	4,004	2.6
タイム	83,563	79,516	△4,047	△4.8
スポット	69,104	77,156	8,052	11.7



	2009年度 10-12月期	2010年度 10-12月期	比較	増減率 (%)
放送収入	53,678	54,781	1,103	2.1
タイム	28,250	26,427	△1,822	△6.5
スポット	25,428	28,353	2,925	11.5



# 事業収支



2010年度 4-12月期

(単位:百万円)

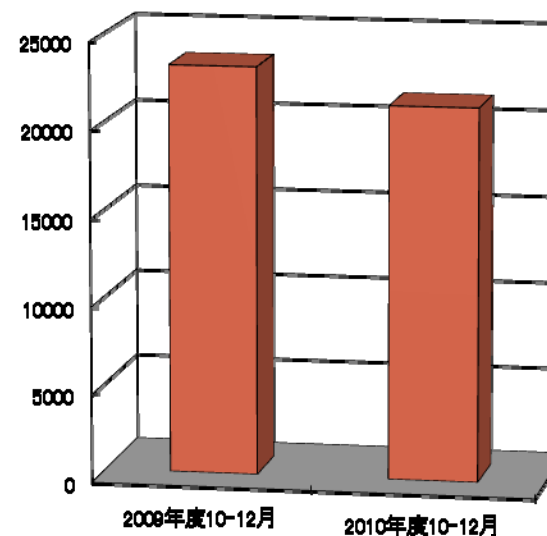
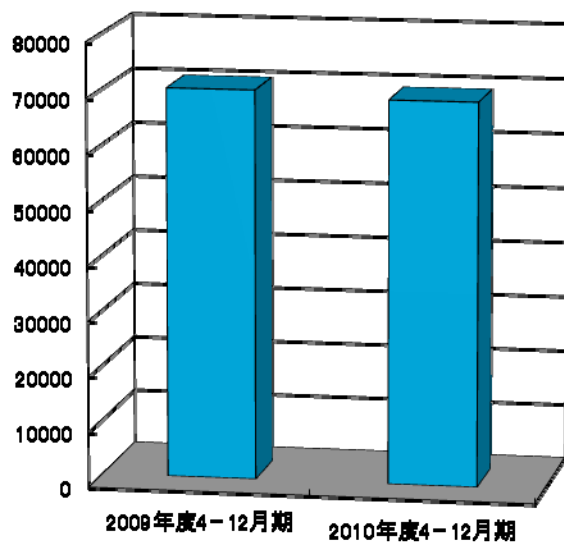
	収入	費用
イベント	4,119	3,729
BS、CS、CATV	3,816	2,030
ライツ(国内)	2,267	792
ライツ(海外)	377	144
通販	8,550	7,724
出版	492	410
映画	5,426	4,716
VOD他	857	903
その他	24	380
合計	25,928	20,828

# 番組制作費—単体—



(単位:百万円)

2009年度 4-12月期	2010年度 4-12月期	比較	増減率 (%)
70,464	69,296	△1,167	△1.7
2009年度 10-12月期	2010年度 10-12月期		
23,281	21,276	△2,004	△8.6





# 設備投資と減価償却



(単位:億円)

2010年度 4-12月期	設備投資額	減価償却費
連結	35	62
単体	31	56

2010年度予想	設備投資額	減価償却費
連結	52	85
単体	45	76

2011年度予想	設備投資額	減価償却費
単体	79	75

# セグメント別ー実績と予想ー



(単位:百万円)

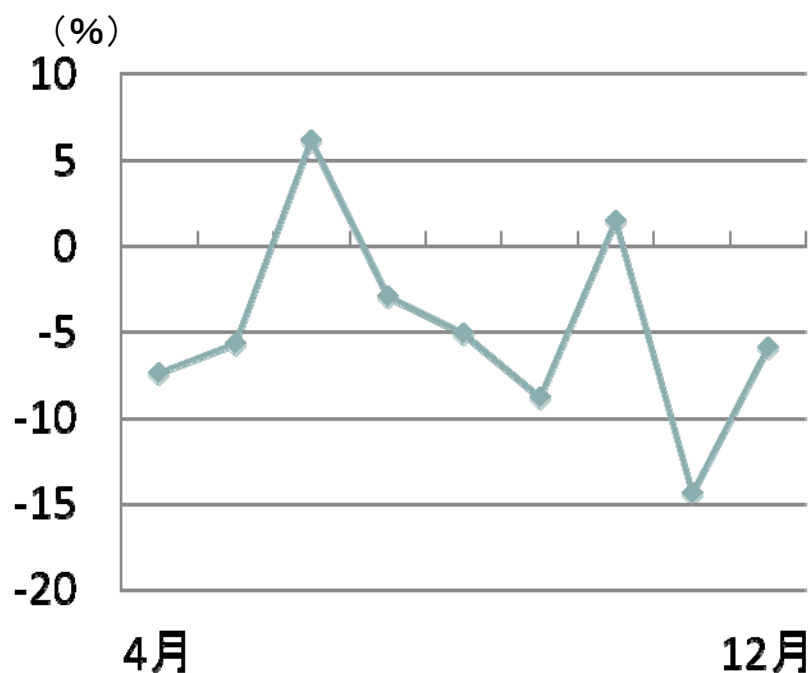
4-12月期実績	コンテンツビジネス	不動産賃貸	その他	調整額	連結FS
売上高	219,050	5,339	2,245	△3,751	222,884
営業費用	197,003	3,973	2,233	△3,751	199,459
営業利益	22,046	1,366	11	—	23,424

通期予想	コンテンツビジネス	不動産賃貸	その他	調整額	連結FS
売上高	292,100	7,200	2,600	△4,900	297,000
営業費用	261,890	5,370	2,640	△4,900	265,000
営業利益	30,210	1,830	△40	—	32,000

# 営業実績と見通しータイムー



タイム	2009年度	2010年度
10月	△14.8%	1.5%
11月	△10.1%	△14.4%
12月	△20.4%	△5.9%
10-12月	△15.3%	△6.5%



## 放送収入全体まとめ

- 第2四半期に続いて増収に

## タイム10-12月期まとめ

- 単価下げ止まり感出てきたが、依然マイナス成長
- 年末セールスでカロリーアップ：好材料

## タイム今後(1-3月期以降)の見通し

- レギュラー番組は3月まで完売
- 大型単発番組の編成を受けて上積み目指す
  - ∴ 特に期末単発番組のカロリーアップに期待
- 4月改編セールスを開始
  - ∴ 視聴率好調番組を中心に売れ行き好調

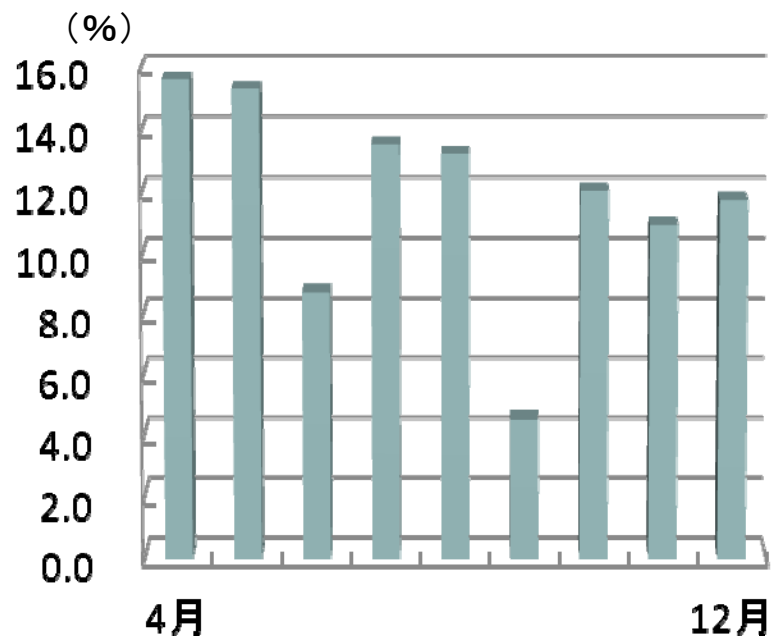
# 営業実績と見通し—スポット—



スポット	2009年度	2010年度
10月	4.1%	12.0%
11月	5.7%	10.9%
12月	4.8%	11.7%
10-12月	4.9%	11.5%

## スポットまとめ

- 第3四半期も前期比2ケタ伸長
- 四半期エリア内シェア25%超  
 ※ 2003年度第4四半期以来のこと



## 市況環境と今後の見通し

- 家電・AV、化粧品・トイレタリー、  
 情報・通信(ソーシャルゲーム含む)が牽引
- 1月は20%以上の伸び、2月も好調維持
- 3月も東京エリアは活況

# 通販事業 — 過去最高の売上高 —



## 4-12月期 収入・収支比較

	2009年度 4-12月期	2010年度 4-12月期
収入	7,939	8,550
収支(利益)	828	826

(単位:百万円)

### ■ 4-12月期累計で過去最高売上高

- ・系列局での放送時間拡大
- ・売れ筋商品の発掘
- ・レギュラー番組のほか特別番組が好調

### ■ 今後の戦略

- ・特番中心に系列局での展開を拡大
- ・レギュラー番組の充実  
(スタジオ生放送部分の拡大など)
- ・顧客満足度の向上  
(ex. 日時指定配達の更なる充実等)

## 日テレ通販 4-12月期売上ベスト5



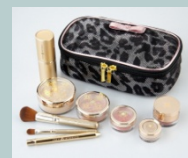
①ポータブルカーナビ ニュートライウインポケット



②ダイソン DC22タービンヘッドエントリー(掃除機)



③パルコス 牛革2WAYバッグ



④オンリーミネラル 幸せオーラセット(化粧品下地)



⑤genten 牛革オリジナルバッグ

(単位:百万円)

	2009年度 4-12月期	2010年度 4-12月期	比較	増減率(%)
売上高	15,956	17,084	1,128	7.1
営業利益	△1,802	73	1,876	—

## 今期の分析

### ■ 増収要因

- VAPが販売受託の「トイズファクトリー」MR.CHILDRENなどがアルバム発売 ⇨ 売上前期比約2倍に

### ■ 増益要因

- VAP本体のMG償却(25.2億⇨4.5億)、制作費(22.5億⇨12.4億)減少

### ■ 4Qの見通し

- 映画「BECK」、「君に届け」DVD、ドラマ「Q10」DVD、「スター誕生!」CD&DVD-BOXなどを発売予定



# 業績予想と前提



## 2010年度業績予想

(単位:百万円)

通期	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
連結	297,000	32,000	39,000	22,000
単体	259,500	28,000	33,000	18,000

## 放送収入(タイム/スポット別)と制作費の前提

	下期	通期
放送収入	2.0%	2.4%
タイム	△6.7%	△5.4%
スポット	12.1%	11.9%
制作費	△9.5%	△3.9%

# 視聴率－首位との差を縮めた2010年－



2010年(2010/01/04～2011/01/02) 年間視聴率

	NTV	TBS	CX	EX	TX	1位との差 (昨年の差)
全日	8.1	6.5	8.3	7.3	2.9	<b>△0.2</b>
	②	④	①	③	⑤	(△0.2)
プライム	12.5	9.7	12.9	11.8	6.0	<b>△0.4</b>
	②	④	①	③	⑤	(△0.8)
ゴールデン	12.3	9.5	13.0	11.2	6.3	<b>△0.7</b>
	②	④	①	③	⑤	(△1.1)
ノンプライム	6.9	5.6	7.1	6.0	2.0	<b>△0.2</b>
	②	④	①	③	⑤	(+0.1)



- 「構造改革」の継続・強化 → コアターゲット完全制覇(全日・G/P帯)
- フルデジタル時代を意識した編成 → 「テレビ」のメディアパワー更なる向上へ

その上で、4月番組改編のテーマは → **テレビがど真ん中！トップ奪還！！**

## ■4月改編のポイント

\* 全日帯番組の挑戦的改編とG/P帯弱点の補強

- ・「ズームイン!!SUPER」を33年ぶりに改革 新番組「ZIP!」誕生
- ・お昼の情報番組「DON!」が南原清隆をMCにバラエティー情報番組に

# ZIP!

## ■来季ジャイアンツ戦中継

- ・ジャイアンツ主催試合をCS、BS、地上波の3波放送
- ・ナイト7試合(1試合減)、デーゲーム15試合(1試合増)

## ■番組配信

- ・「日テレオンデマンド」にてドラマ「デカワンコ」見逃し配信を開始

## ■制作費

- ・効率的な運用を引き続き実施





次頁から  
補足資料です

# スポット業種別売上シェア(10-12月)



2010年度 10-12月期		シェア	増減率(%)	2009年度 10-12月期		シェア	増減率(%)
1	化粧品・トイレタリー	13.0	39.1	化粧品・トイレタリー	10.4	10.9	
2	電気機器	11.7	25.7	電気機器	10.3	△ 14.0	
3	運輸・通信	9.6	51.6	薬品	8.7	5.8	
4	薬品	7.7	△ 1.1	アルコール飲料	6.8	0.3	
5	輸送機器	5.5	10.5	映画・演劇興行	6.5	60.5	
6	非アルコール飲料	4.4	60.1	運輸・通信	6.5	△ 5.2	
7	卸売・百貨店	4.3	62.2	サービス	6.2	39.2	
8	サービス	4.1	△ 19.3	輸送機器	5.6	△ 15.4	
9	金融・保険業	4.1	8.9	食品<乳製品調味料>	4.4	23.4	
10	アルコール飲料	3.9	△ 36.1	レコード他	4.4	96.9	
	その他	31.8	17.1	その他	30.3	8.7	
	合計	100.0		合計	100.0		

# 2010年度経営方針



## コアターゲット視聴率をアップさせ、世帯視聴率でトップ奪還

- ノンプライム帯の視聴率で単独トップに
- 全日帯の視聴率をトップに
- 19時台の視聴率を改善し、ゴールデンタイム・プライムタイムもトップに
- コアターゲット視聴率と世帯視聴率が取れる強力コンテンツの開発

## 収益の拡大と新たな収益源の開発

- **放送収入**
  - スポット収入でシェアを上げトップに
  - 様々なアイデア(クロスプログラムプロモーション等)を駆使し、タイム収入を増加基調に
- **放送外収入**
  - 既存の放送外収入の更なる拡大
  - フルデジタル時代を意識し、日本テレビグループの強みを活かした新規事業の開発・推進

## あらゆるコストコントロールの継続

## グループ各社の個性を活かし、グループ全体の利益を拡大